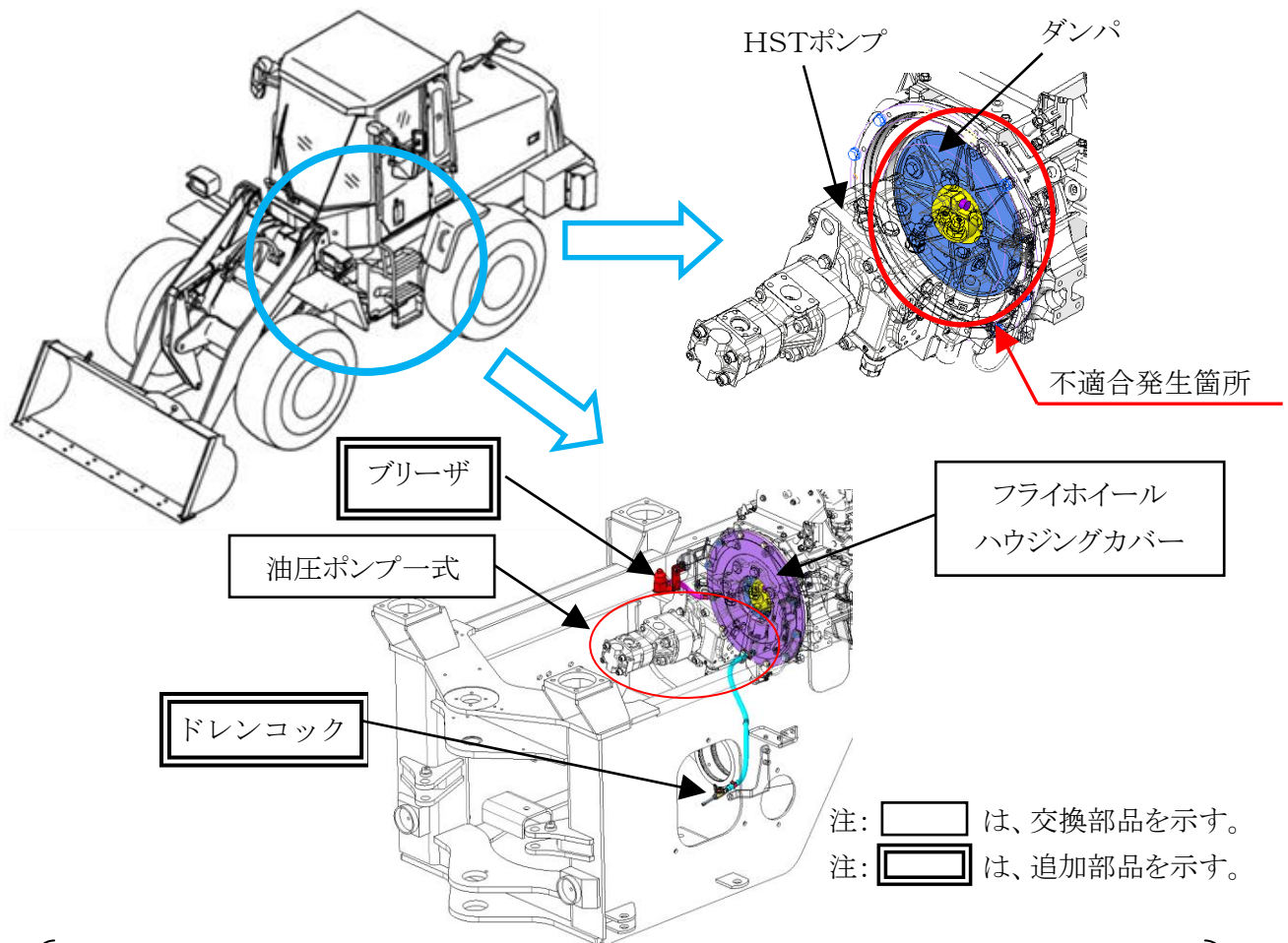


改善箇所説明図



ショベル・ローダの静油圧式無段変速機（以下、「HST」という。）において、油圧ポンプのオイルシールの構造が不適切なため、始動直後ポンプ内圧が高くなり当該シールが変形することがある。そのため、シールが摩耗することでシール性が損なわれ、オイルがフライホイールハウジングに漏れ出し、そのままの状態で使用を続けると、漏れ出したオイルがフライホイールハウジング内でオイルの温度が高くなり、最悪の場合、フライホイールダンパが溶損し、走行不能となるおそれがある。

改善措置の内容

全車両製作年月日を確認し、以下のいずれかの改善を行う。

- ①対策品のオイルシールが組み込まれた油圧ポンプ式に交換し、さらにフライホイールハウジングカバーを交換してブリーザとドレンコックを追加するとともに、ドレンコック追加による定期点検事項を取扱い説明書に追加する。また、フライホイールハウジング内にオイル漏れがあった場合は、フライホイールダンパを新品と交換する。
- ②フライホイールハウジングカバーを交換してブリーザとドレンコックを追加するとともに、ドレンコック追加による定期点検事項を取扱い説明書に追加する。
- ③ドレンコック追加による定期点検事項を取扱い説明書に追加する。

識別: HSTポンプのシリアルナンバープレート周りに白色ペイントを塗布する。

